

今回は、一通の手紙を紹介します。
彼女と初めて会ったのは去年の晩秋の頃でした。
教員になるための勉強をしている大学生で、卒業論文のテーマに「病児保育」を取り上げたのです。
担当教授が、たまたま訪れた保育園から持ち帰ったさわやか愛知の病児保育のチラシを、参考にと彼女に手渡してくれました。
それがきっかけで、さわやか愛知に論文のための調査に訪れたのです。
取材の申し入れの最初の電話のときから、とても丁寧な話し方で、まじめな勤勉な女性だという印象でした。
その後も、さわやか愛知が毎年開催する大府市の委託事業の一つである病児保育研修や、託児の現場の見学にも通ってきてくれました。
その彼女から、卒業論文が完成したという嬉しいお便りが、届いたのです。
誠実な人柄が偲ばれる素敵な文面をご紹介します。

拝啓

早春の候、お変わりなくお過ごしのことと存じます。
過日はお忙しい中、さわやか愛知の事業や病児保育に関するインタビューを受け入れてくださり、また、託児の見学の機会を設けてくださり、本当にありがとうございました。

おかげさまで、私の納得のいく卒業論文が完成し卒業論文発表会も無事に終わることができましたこと併せて感謝申し上げます。

インタビューを通して、さわやか愛知の多くの取組の背景には「たすけあい」という温かい思いがあることを知りました。

また、病児保育でも託児でも、子供の様子や思いを第一にし、関わるのが大切であると学びました。

卒業論文を書き上げる中でニーズに合わせた病児保育事業を展開していくためには利用しやすさや事業の柔軟性などの改善も必要であると感じました。

インタビューや見学、卒業論文作成にあたり学んだことを大切にし、今後に生かしていきたいと思えます。

末筆ながら皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

愛知教育大学初等教育教員養成課程 亀井あゆみ

編集後記

新年だ、新年度だ、新元号だ、と何かと賑やかなうちに待ちに待った春の到来です。

さわやか愛知も、新しい体制で新しい年度の幕開けです。
詳しい内容は総会でも発表されますので、どうぞお楽しみにお出かけください。